

令和2年度 一般財団法人 但馬地域地場産業振興センター
事業計画

はじめに

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの緩やかに改善しているとされており、個人消費は改善の動きに足踏みがみられるとされている。しかしながら、平成元年10月の消費税増税に続き、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響が懸念される所です。

このような状況下にあるが、令和2年度においても、従来と同様に行政、関係地場産業団体等と連絡を密にし、地場産業振興のための販路開拓・情報発信の各種事業及び直営事業を実施していく。

1. 管理運営事業

但馬地域における地場産業振興の拠点として、構成市町及び関係団体との連携を密にし地域地場産業の健全な発展と地域経済社会の活性化を促進するため諸事業を実施する。

1) 評議員会

開催 1回程度

2) 理事会

開催 2回程度

事業計画、予算等運営に関する重要事項について審議する。

3) 経営の健全化

法人経営の健全化に向けた対応策を積極的に実施、事務の合理化及び経費の節減に努める。また、施設の安全・清潔を維持し、来場者へのサービス向上に努める。

2. 地場産業総合振興事業

1) 地場産品普及事業

①フェスティバル開催事業

展示会開催

兵庫県鞆工業組合をはじめ関係団体と協議し地域ブランド「豊岡鞆」、杞柳製品など但馬地域の地場産業製品を中心に展示会を開催し、新たな販路の開拓と但馬地域地場産業製品のPRを実施する。

《開催時期・場所》協議の上決定する

②地場産品PR事業

ア.パンフレットの作成

イ. 広告掲載等による地場産品等のPR

地域の情報誌としてより宣伝効果の高いと思われる民間情報誌を活用する。

ウ. 豊岡市立まちなかステーション管理運営

宵田商店街に整備された豊岡市立まちなかステーションの管理運営を行う。

名称：じばさんショップ Toyobra

内容：地場産品・特産品の販売等

③地場産品合同PR

他地域で開催されるイベント等に出展参加し、地域産品の知名度アップ及び但馬地域への誘客を図る。また、ショッピングサイトでのPRも実施する。

但馬まるごと感動市 等

2) 情報発信事業

インターネットのホームページを活用し、但馬地域の情報発信に努める。

3. 5階フロアの管理運営

1) コワーキングスペース FLAP TOYOOKA

利用者のニーズを把握し、より快適に使用できるよう努め、会員増を目指していく。
なお一部業務については、一般社団法人豊岡観光イノベーションに委託する。

2) 事務所の賃貸

貸事務所2室の貸付を行う。

4. 直営事業

センター施設の維持・管理に必要な運営財源の確保及び各施設の利用促進に努める。

1) 観光物産展示即売場運営事業

但馬地域内で開発・製造された製品（商品）を集積し、展示紹介するとともに、即売用の商品提供業界及び企業と連携を密にし、各商品の研究開発（売れ筋商品への改良、新商品開発への助言等）、お中元・お歳暮時期にチラシを作成し販売促進に努める。また、豊岡市ふるさと納税の謝礼品取扱いについて、商品の充実を図り、収益増に努める。

現在の展示即売場について、取扱商品、スペース等を含め効率的運営を図るための方策を検討していく。

2) 会館運営事業

ア. 施設利用促進事業

多目的ホールほか各研修室において、広報・チラシ等を用いて各構成団体に各種催事、研修会の利用を促し、施設の効率的活用に努める。

また、稼働率の低い貸室については有効活用の方策を検討していく。

イ. 産業歴史資料室等運営事業

地域の代表的地場産業となった「豊岡かばん」について、杞柳産業から鞆産業への移り変わりを資料に基づき紹介し、多くの方に鞆の歴史を知ってもらえる場を提供する。

5. その他

1) 他センターとの連絡調整

他センターとの連絡調整を密にし、連携を強化する。

2) 会議等への出席

①全国地場産業振興センター協議会 総会

②近畿経済産業局管内地場産業振興センター協議会 連絡会議